

【 出題のねらい 】

ア) 全般的なねらい

数と式、図形、数量関係などに関する基礎的、基本的な概念や原理・法則についての知識や理解の程度をみるとともに、それらを積極的に活用し、数学的な見方や考え方で処理する力、その結果を表現する力をみるために、各領域から幅広く出題した。

イ) 問題の構成

- ① 大問を4問とし、全体を小問18問で構成した。
- ② 検査時間も考慮し、「答えのみを書かせる小問」と、「答えを求める途中の式や計算を書かせることにより、思考過程を重視した小問」の両方を併用した構成とし、作図問題・証明問題も採り入れた。

ウ) 各問いごとの出題のねらい

- ① 標準的な計算を中心にして、各領域における基礎的な概念の理解の程度や、それらを適用する力をみる。
- ② 〔問1〕文章を正しく読み取り、独自の設定により数式で表現し、解決する力をみる。
〔問2〕グラフを活用して問題を解く力をみる。
- ③ 平面図形の基本的な作図の力をみるとともに、論理的に考察し表現する力や見通しをもって考える力をみる。
- ④ 関数関係を的確に把握する力や表現する力をみるとともに、関数関係を方程式と関連づけ、グラフを活用して問題を解く力をみる。